

学校司書配置事例集

～新たな取組を始めています～

北海道教育委員会



松前町立松城小学校



士別市立士別中学校

はじめに

平成 26 年に学校図書館法が改正され、学校には学校司書を置くよう努めなければならないとされました。また、市町村における学校司書の配置に対して、国の地方交付税措置が平成 24 年度から行われています。さらに、国の施策「チーム学校」における専門人材としての学校司書の加配措置なども平成 27 年度から始まりました。

これらの制度を背景に、北海道においては、学校司書の配置率が未だに全国に比べて低い状況ではあるものの、新たに学校司書を配置する市町村が着実に増えています。

本事例集は、すでに学校司書を配置して新たな取組を進めている市町村の事例を紹介することにより、学校司書の配置を検討している市町村が配置に取り組む一助となることを目的として作成しました。

各市町村におかれましては、本事例集に掲載されている取組を参考にさせていただき、今後、学校司書の配置を進めていただくようお願いいたします。

平成 28 年 3 月

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課長 阿部 武仁

目 次

<小学校>	ページ
苫小牧市立北星小学校	1
安平町立追分小学校	2
松前町立松城小学校	3
釧路市立中央小学校	4
<中学校>	
深川市立深川中学校	5
旭川市立永山中学校	6
士別市立士別中学校	7
<資料>	
北海道の子どもたちの読書状況について	8

「読書指導」「学習指導」「情報活用能力育成」の支援に活躍!

苫小牧市立北星小学校（胆振管内）

●学校の紹介

児童・生徒数	304名	配置開始時期	平成27年5月
学級数	14学級	勤務形態 ・勤務校数	非常勤（火・水・木） 1校勤務
教職員数	24名	勤務時間等	9時30分～16時15分 （6時間00分）
司書教諭の発令	■有 □無		

取組内容・特色

●配置の経緯

「児童の健全な教養を育成すること」及び「学校の教育課程の展開に寄与すること」をねらいとして学校図書館活動を強化するため、今年度より苫小牧市立北星小学校をモデル校に、司書有資格者の学校司書を配置しました。

このことは苫小牧市において初の試みであり、北星小学校での実践を積み重ねて、今後は他校にも学校司書配置を広げていく予定です。



●主な業務

- ・図書館の管理（図書台帳管理・装備、ポラテイ対応）
- ・読書指導支援（読み聞かせ、学級文庫、図書まつり）
- ・学習指導支援（資料の準備）
- ・情報活用能力育成支援（調べ学習支援）
- ・図書の選定・購入計画、予算執行状況の把握
- ・環境整備（展示、書架整理、サイン類の作成・設置）

●充実・工夫した取組

読書指導、学習指導、情報活用能力育成への支援として、次の取組を行っています。

- ・並行読書用の図書や調べ学習用資料の準備
- ・調べ学習の場面での支援、協力
- ・読み聞かせやブックトークの実施

また、季節に応じた図書室の環境整備に努めています。



●配置による効果

- ・並行読書や調べ学習に使用する資料が準備できるようになり、また、市立図書館との連携がさらに進むことにより、教師の負担が軽減されました。
- ・図書館内の環境整備や、学校司書による読み聞かせ等により、図書室を利用する児童が増えました。
- ・1月下旬時点の貸出冊数が、前年度の総貸出冊数を46%上回っており、本を借りる児童が著しく増加しています。

課題・今後の方向性

・各学級での国語科や他の教科において、学習指導への支援・協力を年度当初から計画に従って実施できるよう、教育活動の中に位置づけていく必要があります。

・他市町村や他校の学校司書と情報交換したり研修を行うとともに、それに係る予算を確保することが必要です。

学校司書がT2として授業をサポートしています！

安平町立追分小学校（胆振管内）

●学校の紹介

児童・生徒数	141名	配置開始時期	平成27年4月
学級数	12学級	勤務形態	非常勤
教職員数	20名	・勤務校数	複数校勤務（追分中学校兼務）
司書教諭の発令	■有 □無	勤務時間等	追分小学校 8:00~13:45 追分中学校 13:45~16:30

取組内容・特色

●配置の経緯

学校図書館に関して次のような課題があり、その解決のため専任職員の配置の必要性が高まる中、今年度から事務職員の加配措置を受けることができ、追分小学校と追分中学校に兼務で配置しました。

- ・館内の整備（蔵書のデータベース化、更新）
- ・公民館図書室との連携を見据えた学校図書館蔵書の分類、配架、貸出方法の統一化
- ・学校図書館を活用した授業の推進と授業に使用する図書の手配
- ・読書活動の一層の充実 など



●主な業務

- ・図書の管理（選書、発注・受入、貸出・返却等）
- ・館内整備（装飾、掲示、配架、除架等）
- ・PTAボランティア、図書委員会活動支援
- ・授業支援（図書手配、T2として授業補佐、取組の記録）
- ・公民館図書室連携窓口、読書週間の企画、資料展示等

●充実・工夫した取組

授業支援を積極的に行うため、公民館図書室との連携を強めたり、学校間貸借による本の手配などを行っています。

また、公民館図書室と町内学校間の連携を見据えた図書管理システムの導入予定にあたり、データベース化、バーコードによる貸出など、図書管理体制の構築を図っています。



●配置による効果

- ・図書管理システムの導入により、蔵書管理をデータベース化することができました。システムを利用した貸出については、追分中学校では開始しています。追分小学校は次年度から開始します。
- ・司書教諭を中心に、委員会活動の活性化や、図書だよりの発行など、読書活動の指導に力を入れることができました。
- ・授業での学校図書館や図書の活用回数が前年比4.5倍に増えました。
- ・NDCによる配架、サインの設置などが進み、イベントなども実施することより児童・生徒が利用しやすい図書館になり、貸出冊数も前年比1.8倍に増えました。

課題・今後の方向性

- ・複数校勤務のため、1校で十分な勤務時間を確保する工夫が必要です。
- ・効率の良い業務遂行のために、学校図書館業務に関する知識、技術を習得する機会が必要です。
- ・継続的に学校司書を配置し、教育課程を熟知したより積極的な授業サポートに努める必要があります。
- ・今後、町内連携した図書管理システムを運用して、読書活動支援、授業での活用に役立てていきます。

学校と公共図書館の橋渡りで学校図書館の機能が充実しました!

松前町立松城小学校（渡島管内）

●学校の紹介

児童・生徒数	179名	配置開始時期	平成27年4月
学級数	10学級	勤務形態 ・勤務校数	非常勤 複数校勤務（小学校3校・中学校1校）
教職員数	19名	勤務時間等	月～水、金 8時00分～16時30分
司書教諭の発令	■有 □無		木 7時55分～16時25分

取組内容・特色

●配置の経緯

町立図書館から学校への図書の貸出しや学校図書館の環境改善等の支援により、整備が進められ、学校図書館の充実へのニーズが高まる一方、日常的な運営や管理等は担当教諭に任せきりになっていました。このような状況を解決するため、学校司書の配置の必要性が強く認識されるようになり、平成27年度から事務職員の加配により学校司書の配置に着手しました。



●主な業務

- ・ 図書の管理（選書、データベース登録、装備、貸出・返却）
- ・ 授業支援、学級文庫の整備、オリエンテーションの実施
- ・ ボランティアや学校支援地域本部との調整等
- ・ 公立図書館との連携
- ・ 資料展示

●配置により開始または充実を図った取組

図書の購入回数を増やすとともに、昼休みだけだった開館を拡大しました。
また、授業に合わせて図書を準備できるようになりました。
さらに、教育委員会や町立図書館との担当者会議を毎学期始めに行うなど、より一層の連携を図っています。



●配置による効果

- ・ 環境整備と常時開館、さらに学校支援地域本部による館内装飾活動により、図書館を利用する児童・生徒が増えました。
- ・ 町立図書館との窓口を学校司書が担当することにより、授業に使う図書を借りる際には、具体的な内容を学校司書が教員から詳しく聞き取って町立図書館に伝えたりするなど、教員の負担軽減や授業の充実につながっています。
- ・ 館内の美化や読み聞かせやイベント等の企画・実施により、児童・生徒が読書に親しむ機会が増えて読書活動の一層の充実が図られています。

課題・今後の方向性

- ・ 学校司書の継続的な配置のための財源を確保する必要があります。
- ・ 複数校勤務のため、各校で十分な従事時間を確保できるよう工夫する必要があります。
- ・ 司書教諭や担当教諭と打ち合わせる時間を確保する必要があります。
- ・ 学校図書館の授業での活用を拡充する必要があります。

装飾の工夫や開館時間の拡大で図書館活動が充実しました！

釧路市立中央小学校（釧路管内）

●学校の紹介

児童・生徒数	193名	配置開始時期	平成27年4月
学級数	10学級	勤務形態 ・勤務校数	常勤 1校勤務
教職員数	19名	勤務時間等	8時10分～16時40分 (7時間45分)
司書教諭の発令	■有 □無		

取組内容・特色

●配置の経緯

釧路市では、全国学力・学習状況調査のほか釧路市標準学力調査を実施しており、これらの結果を分析したところ、より一層の基礎的・基本的学力向上のため言語活動の充実が必要と考え、その方策として学校図書館の充実及び効果的利用を図るための人員配置を事務職員の加配により実施しています。



●主な業務

- ・ 図書の管理（選書、購入、貸出・返却、保守等）
- ・ 図書室の装飾、図書だよりの発行（年8回）
- ・ 児童の図書委員会活動（貸出・返却業務、整理整頓、貸出ランキングや新着お知らせ作成等）の支援
- ・ 読み聞かせボランティア組織のコーディネート
- ・ 市立釧路図書館との連携

●充実・工夫した取組

貸出しや返却ができる日を拡充しました。
また、学校支援ボランティアの方に図書館の装飾を行ってもらったり、校区中学校とおすすめ本の紹介などで交流したり、市立図書館の団体貸出の利用を始めたりするなど、学校外との連携に取り組んでいます。



●配置による効果

- ・ 釧路市立図書館の団体貸出の利用を開始したことにより、児童1人当たりの平均貸出冊数が増加しました。
- ・ 図書室の装飾や新刊本の配置などを工夫することで、快適で来室しやすい環境となり、来室児童が増えました。
- ・ 中休みや昼休みにも職員による開館が可能となったため、図書室の利用人数や貸出冊数が増加しました。

課題・今後の方向性

- ・ 学習内容に合わせて図書を準備できるよう、学級担任との打合せ時間の確保等を行っていきます。
- ・ 年間指導計画に沿った図書展示等を行っていきます。
- ・ 職員に司書資格が無く、図書館業務に関する知識が不足しているため、研修の充実を図る必要があります。

蔵書をデータベース管理することにより、除架や廃棄がスムーズに!

深川市立深川中学校（空知管内）

●学校の紹介

児童・生徒数	232名	配置開始時期	平成27年4月
学級数	11学級	勤務形態 ・勤務校数	常勤 1校勤務（連携4校）
教職員数	26名		
司書教諭の発令	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	勤務時間等	8時15分～16時45分 (7時間45分)

取組内容・特色

●配置の経緯

「深川市子どもの読書推進計画」に基づき学校図書館整備を進める上で、市立図書館との連携や新規購入図書の新規事務など、従前、教諭が校務分掌として行っていた学校図書館に関する業務に対し、専任職員の配置の必要性が強く認識されたため、平成27年度より事務職員の加配により学校図書館業務に関する専門的職員を配置しました。



●主な業務

- ・ 図書の管理（選書補助、装備等）、館内装飾、資料展示
- ・ データベース管理（受入登録、図書台帳点検確認）
- ・ 生徒会常任委員会活動支援（貸出・返却支援）
- ・ 担当教職員との打合せ
- ・ 市教委、市立図書館との連携、情報交換、研修

●充実・工夫した取組

過年度受入図書の点検及び図書のデータベース化を行い、購入や廃棄などの蔵書管理等の効率化を図った。
また、図書の購入回数を増やしたり、図書室内の除架や美化を進めることにより、利用しやすい環境を整備しました。



●配置による効果

- ・ 図書のデータベース化により、蔵書管理の効率化を始め、所蔵状況や貸出状況が一目でわかることから、市立図書館からの本の借り受けをスムーズに行うことができるようになりました。
- ・ 専任職員が除架や美化によって図書室内の環境を整備したため、生徒にとって図書が借りやすく、貸しやすい環境となりました。

課題・今後の方向性

- ・ 連携4校の蔵書情報を統一したデータベース化の必要があります。
- ・ 4校の統一した廃棄基準の設定や適切な蔵書の更新を進める必要があります。
- ・ 児童生徒の閲覧や貸出を促進するため、更なる学校図書館の環境整備や4校の担当者との連携を図る必要があります。
- ・ 児童・生徒のニーズの把握や教員へのレファレンス実績を基に、4校の共同利用を見通した図書整備計画を作成する必要があります。

専門知識のある学校司書の配置により読書活動が推進されています!

旭川市立永山中学校（上川管内）

●学校の紹介

児童・生徒数	552名	配置開始時期	平成24年4月
学級数	17学級	勤務形態 ・勤務校数	常勤 1校勤務
教職員数	33名	勤務時間等	12時30分～16時30分 (4時間)
司書教諭の発令	■有 □無		

取組内容・特色

●配置の経緯

旭川市では、学校図書館の利用を促進や子どもの読書活動充実のため、平成17年度から段階的に市内小中学校への学校司書配置を進め、平成27年度には専任・兼任含めて82校全ての小中学校に配置しました。

永山中学校では、司書教諭が授業等の合間を縫って図書館業務を行ってきたが、平成24年度から専任の学校司書が配置されました。



●主な業務

- ・ 図書の管理（選書、受入、貸出・返却、装備等）
- ・ 図書館だよりの発行
- ・ 館内装飾、資料展示
- ・ オリエンテーション
- ・ 図書委員活動支援

●充実・工夫した取組

昼休みのみだった開館を放課後にも拡大しました。
また、図書館だよりを発行し、新刊紹介やリクエスト募集等を掲載することにより、読書活動の啓発に努めるとともに、館内装飾や書架の整理により図書館の利用者を増やす取組も行っています。



●配置による効果

- ・ 館内装飾や案内が充実して来館者が増えたことにより、貸出冊数が月平均3倍以上に増加しました。
- ・ 年度始めのオリエンテーションにより図書館利用が促進されました。
- ・ 放課後にも開館できることから、図書館が学習場所としても機能するようになりました。
- ・ 専門的知識を持った学校司書の配置により、読書推進に加え図書館を活用した学習支援を行えるようになりました。

課題・今後の方向性

- ・ 学校図書館がもっと授業で積極的に活用されるよう、教員と学校司書が連携を図る必要があります。

学校図書館を担当する職員の配置によりNIEの実践も進んでいます!

士別市立士別中学校（上川管内）

●学校の紹介

児童・生徒数	209名	配置開始時期	平成27年4月
学級数	9学級	勤務形態 ・勤務校数	非常勤 複数校勤務（中学校2校）
教職員数	21名	勤務時間等	8時00分～16時30分 （7時間45分）
司書教諭の発令	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

取組内容・特色

●配置の経緯

教諭が授業の合間に校務分掌として行っていた学校図書館に関する業務を専門的職員が行うことで、読書環境の整備が進むと考え、第2次士別市子ども読書推進計画の策定の際に、中学校において読書活動を充実させることを検討し、平成27年度より事務職員の加配により市内中学校の学校図書館に専門的職員を配置しました。



●主な業務

- ・ 図書管理（選書、受入、貸出・返却、装備等）
- ・ 館内装飾、資料展示
- ・ NIE関係資料整理（新聞・資料整理、掲載記事紹介等）
- ・ 図書委員活動支援

●充実・工夫した取組

図書館を利用しやすいように次のような工夫をしました。

- ・ 購入回数の増
 - ・ 利用ルール、マナーの案内
 - ・ 除架や配置、表示の工夫
 - ・ 毎日の環境整備
 - ・ 利用時間外の対応
- また、他校を見学したり市教委・道教委主催の会議・研修に参加して資質向上に努めています。



●配置による効果

- ・ 日常的に生徒が学校図書館を利用できる環境に整備されたことにより、1日当たり1時間以上読書をする生徒数が前年度比7%増になりました。
- ・ 館内装飾や除架の効果で利用者が増えたことにより、学校図書館にほとんど行かない生徒数が前年度比20.4%減少しました。
- ・ 本校は、NIE実践指定校に認定されており、新聞等の資料の整理が進んだことにより、授業の充実につながりました。
- ・ 朝読書用の図書を学校図書館で選ぶ生徒が増えました。

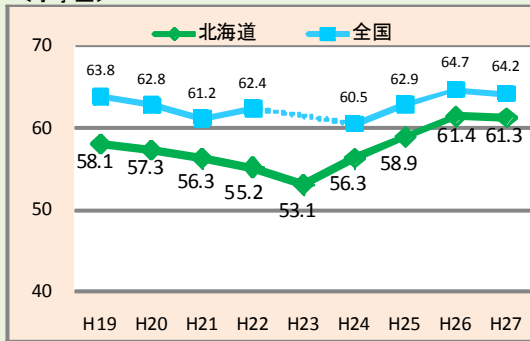
課題・今後の方向性

- ・ 継続的な図書館担当職員の配置に努める必要があります。
- ・ 司書教諭や担当教諭と連携して学校図書館を授業へ活用したり、学習に適した図書を紹介する必要があります。
- ・ 司書資格がないため、業務に関する知識を身につけるために積極的に研修会等に参加する必要があります。
- ・ 図書購入希望アンケートの実施、市立図書館との更なる連携などにより、読書活動の充実を図る必要があります。

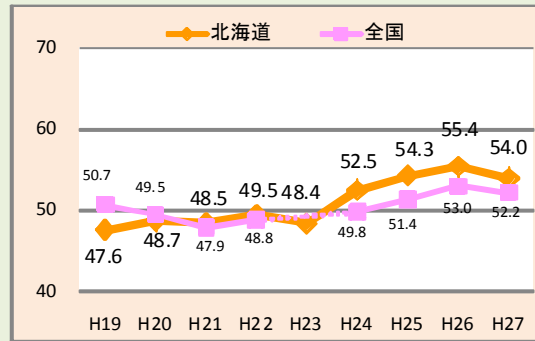
北海道の子どもの読書状況について ～平成27年度全国学力・学習状況調査より～

【1日当たり10分以上読書している児童生徒】

<小学生>



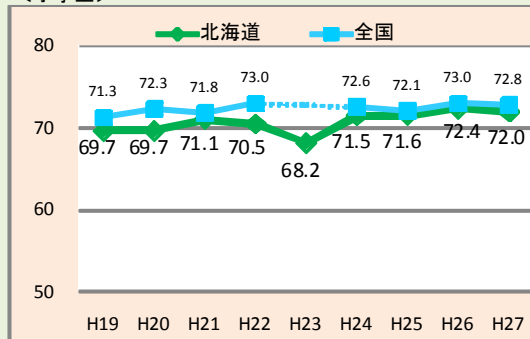
<中学生>



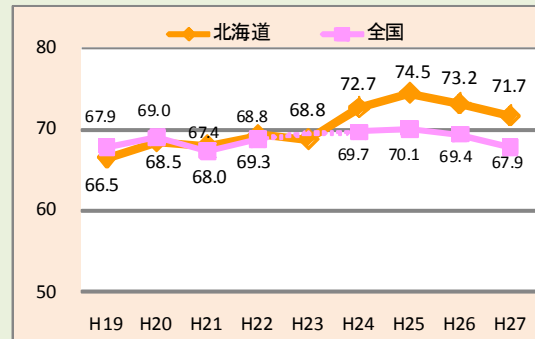
- ・1日当たり10分以上読書している児童生徒の割合は、前年度と比べ小学生で0.1ポイント、中学生で1.4ポイント低くなっている。
- ・小学生では、全国との差が0.4ポイント縮まっている。
- ・中学生では、全国を1.8ポイント上回っている。

【読書が好きだ「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒】

<小学生>



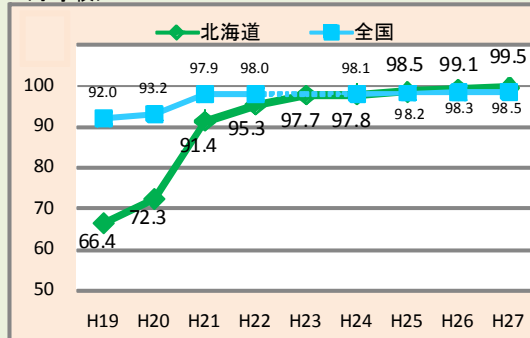
<中学生>



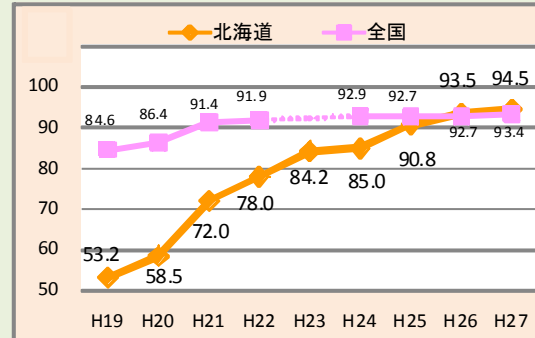
- ・読書が好きなお子様の割合は、前年度と比べ小学生で0.4ポイント、中学生で1.5ポイント低くなっている。
- ・小学生では、全国との差が0.2ポイント広がっている。
- ・中学生では、全国を3.8ポイント上回っている。

【「朝の読書」などの一斉読書に取り組んでいる学校】

<小学校>



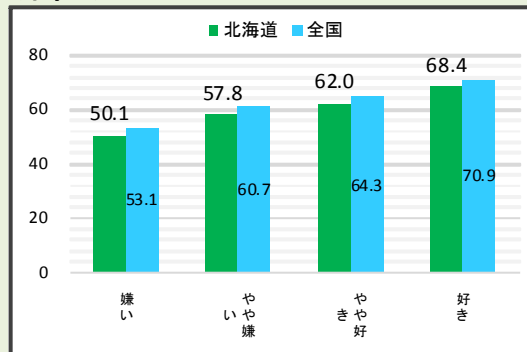
<中学校>



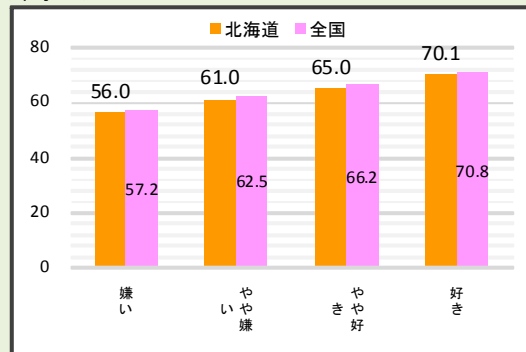
- ・一斉読書に取り組んでいる学校の割合は、前年度と比べ小学校で0.4ポイント、中学校で1.0ポイント高くなっている。
- ・小学校、中学校とも全国を上回っている。
- ・全体として増加傾向にある。

【「読書は好きですか」の質問項目と平均正答率の関係】

<小学生>



<中学生>



- ・読書好きな児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られる。



平成 28 年 3 月 北海道教育委員会

〒060-8544 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課